

# 生活創造空間

「生活創造空間にし」研修としての振り返り。

・・・そして2012

生活創造空間にし 館長 渡辺 幹夫

(研修担当)

# にし

NISHI

～アンラシネを目指します～

第12号 2012年7月10日発行



生活 創造 空間にし として地域発信事業の大きな柱に上記研修があります。

初年度は「障がい」当事者からの「思い」を聴こうと云う形で4回行いました。視覚・精神・難病・そして聴覚とそれぞれていねいに伝えて頂いたのがまだまだ記憶に新しい所です。そして2年目は地域連携ということで「大溝先生（桜美林大学）」「西区長」「民生委員&自立支援協議会」からそれぞれの「地域連携」を話して頂きました。ここでは一方的に聞くだけでなく必ず後半は参加者で分科会を開催する形での「全員参加」研修を行いました。各回の報告は事業概要等に掲載されていますので 読んで下さるとありがたいと思います。

さて本年2012 第1回は「みんな 言葉・想いをもっている」の表題を掲げて7月7日13:30~16:30

に行いました。第1部「自閉症の僕が語る自閉症の世界」として東田直樹さんをお招きし「健常」と云われる我々に率直な「思い」をていねいに。そしてあつく語っていただきました。そして2部は「重度心身障がい」者と云われる方々と東田さんとの「シンポジウム」。聴衆はどのように聞き得たか。ひとりひとりの心に「人に対する敬意」が生まれたような。そんな研修会になりました。

また第2弾以降は地域の教育機関との連携を考えての研修企画です。地域にありながらなかなか交流が難しいのが「学校」という機関のような気がしています。学校なりの発信はありますが。昨年の3月11日を振り返っても災害があるときの結集場所は学校と決まっています。本当に僕らがすぐに行ける場所になっているだろうか。福祉の場からの「連携・提起」を創らないといけなことを痛感。今年度 西区校長会に「ごあいさつ」をすることからはじめようと動いたら。早速、ある小学校の個別支援級担任からクラス子ども達が地域で何が出来るのか。パン作りとパン販売に関われないか。そんな提案がされました。この夏以降 見学会を手始めにして「連携」を創っていこうとの合意が出来ました。

そんなこともあって「もっともっと地域・学校を知ろうとの思い」で、この研修企画となりました。地域校の先生・特別支援学校の先生から発信していただき自立支援協議会メンバーまた民生委員の方々がどう聞くか。そこにまた地域というものがどんなふうにあられるか。そんなことを楽しみに地域での織り合いを創っていきます。





# 障がい者の就労支援と学校との連携



エヌ・クラブ所長 熊井さとみ

エヌ・クラブでは、一般企業で働きたいという希望を持っている障がい者の方への就労支援を行っています。平成21年に開所してから、現在まで13名の方が一般就労をされており、職種は様々ですが清掃業・製造業への就労が多い傾向にあります。みなさんそれぞれの職場でがんばっています！

求職活動の支援については、ハローワークの障害者求人が横浜中部就労支援センター経由で、定期的に情報が寄せられます。その求人をもとに、ご本人の希望をくみ取りながら、サービス管理責任者、就労支援員、作業室担当職員とともに、職場環境・仕事の内容・通勤手段や時間など、それぞれの条件が求職活動中のご利用者さんにマッチするかどうか検討します。職場実習での振り返りも求職活動の参考にして、就職につなげていきます。

働くことに大切なのは、ご本人自身が「働きたい」と意欲を持っていることです。作業スキルが高いとか、成績優秀とか、そのようなことではありません。就職のポイントになるのは、この「働きたい」という意欲を柱として、社会人として必要なマナーが身についているか、です。マナーと言ってもそんなに難しいことではなくて、学校でもきっと先生方がこどもたち・生徒たちに言っている、「あいさつしよう」・「早寝早起きをしよう」「家の手伝いをしよう」などです。学校でも施設でもかわりありません。

知的障がいのある方にとって、「はたらいて自立すること」を理解することは、とても時間がかかることです。一生の中ではたらく時間は長いので、教育をうけているときから「はたらくこと」を理解する機会が大切だと感じています。働きたいという意欲は、将来に向けての「夢」を描いていくことから始まるのではないかと思います。小さいころからいろんな夢が語れるといいですね。

学校との連携のなかで 将来に向けて 必要なことはなにかを情報交換する機会がもてればと考えています。いくつかの学校で、少しばかりですが先生方や親御さんへの情報提供を実施させていただきました。将来に向けての「夢」が小さいころから、もっと描いていけるように。エヌ・クラブが地域（学校）にできることは何か・・・を考えながら活動を行っていきたいと思います。



# 余暇活動のご紹介

今年度の余暇活動は、これまで人気の高かった活動に加え、新しいことにもチャレンジ～♪  
ということで、スタッフ一同！皆さまの思い出の一ページになれるような活動を企画しています！  
乞うご期待くださいませ。

～8月と9月の余暇活動のご案内～

ジメジメした梅雨もそろそろ終盤。これから暑い夏がやってきます☆  
さて、今年も夏の定番！8月はプールです♪プールでいっぱい泳ぎ、厳しい暑さを吹き飛ばしましょう！  
そして、9月は横浜中華街です。みなさんでおいしいランチを食べにいきましょう！

## ☞ 8月

### 第一弾！

日時：平成24年8月7日(火)

場所：保土ヶ谷プール

対象者：当所に登録されている小学生の方

### 第二弾！

日時：平成24年8月21日(火)

場所：清水が丘公園プール

対象者：当所に登録されている中・高校生の方

## ☞ 9月

「横浜中華街に行こう♪」

日時：平成24年9月23日(日)

場所：横浜中華街

対象者：当所に登録されている成人の方

「また参加したい！」って思っていただけのような  
楽しい企画をご用意していきます♪

今後も、引き続きたくさんのご応募をお待ちして  
います！！余暇に関するお問い合わせは、余暇  
担当スタッフの菅賀・志賀までご連絡ください。



## エヌ・クラブの就労支援

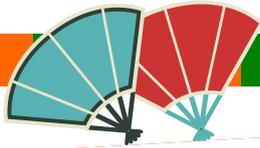


エヌ・クラブでの就労支援は作業室担当者、就労支援担当者、サービス管理責任者が連携を図り、ご本人の希望を中心として作業の適性や課題を見極める話し合いを行い、ハローワークや就労支援センターからの求人情報をもとに職業のマッチングを検討、ご紹介をしています。また、就労支援センターとは企業実習や就職後の職場定着支援においても連携を図り、エヌ・クラブと最も近い場所にある、中部就労支援センターとは定期的な打ち合わせを行い、個々の希望に向けての協力体制・支援体制を取っています。

エヌ・クラブ内では、月に2回マナー講座を開催し‘働く事の意味’等を学ぶ機会を設けたり、企業見学、企業体験実習を実施し、エヌ・クラブや座学だけでは学べない企業が求める働く力を体感、経験の積み上げをし、エヌ・クラブ内で活かす取り組みを行っています。

今、企業が求めるものは何か、どんな人材を求めているか、企業を知る事が職員にも求められます。その為、企業見学や企業体験実習には職員も参加し学んでいます。また、就職後の定着支援としてご本人はもちろん、企業側も困っていないか伺っています。

‘働きたい’と言うご本人の希望を叶え、いち労働者として社会に巣立つみなさんを様々な角度からエヌ・クラブはこれからも支援します。



# にしよこ寄席 其の四

平成 24 年 5 月 31 日(木) 午後 5 時 30 分より、ステーション邂逅 Vol.8 が行われました。寄席は今回で 4 回目となります。題して「にしよこ寄席」！

今回は、橘ノ圓滿さん、瀧川鯉ちゃんのお 2 人にご出演して頂きました。

やっぱり噺家さんは人を引き込むかってすごいですね～。

楽しいひと時をありがとうございました！

次回の寄席は 10 月 6 日(土)福祉フェスタで開催予定です！



圓滿さんのブログ！ ↓

<http://ameblo.jp/emman0874/page-4.html>

鯉ちゃんのプロフィール

[http://risho-ichimon.blogspot.jp/2011/02/blog-post\\_1428.html](http://risho-ichimon.blogspot.jp/2011/02/blog-post_1428.html)

## 腹黒日記～黒々なるままに～

### ☆「もってる」☆

今年の流行語の一つに、周囲に何かを期待させ、その通りにやっつけてのける人のことを「もってる」と表現する言葉がある。例えば、なでしこジャパンの澤穂希選手がW杯の決勝でゴールを決めたり、ジャイアンツの坂本勇人選手が得点圏にめっぽう強いバットングを見せたりすることだ。これはスポーツの世界に限られたことではない。民主党の元代表が壊し屋の異名の通り、民主党や自身の家庭も壊してみたり、私が行きつけにしている本格インドカレー屋のお昼の番組は、いつもヒルナンデスと決まっていたりすることもそうだ。

そういえば、うちにも一人「もってる」男がいた。腹黒日記ではおなじみの 4 歳の長男だ。先日、七五三の写真の前撮りするために生まれて初めて美容院(それまでは家でバリカンです)に行った時のこと。それなりに整えてもらい、戦隊ヒーロー気分得意気揚々と帰路についた所で道中、上空の鳥からプレゼントを賜った。生涯、彼は初めて美容院に行った時のことを家族から語られることになるだろう。(腹グロール)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)